



TOHOKU
UNIVERSITY

「知のフォーラム」21世紀の支倉常長プロジェクト推進企画 「日本学における知の創出セミナー」

日本学セミナーは、日本を「対象」とする研究や、日本からの「視点」を重視する研究を広く「日本学」と捉えることにより、多様な日本学研究者の研究交流を促進し、東北大学における日本学の研究力強化を図ることが目的です。2016年度「知のフォーラム」テーマプログラムの一つである「21世紀の支倉常長プロジェクト」(オーガナイザー：尾崎彰宏 文学研究科教授ほか)の一環として開催しています。



Seminars on Japanese Studies as an
Interdisciplinary Meeting Point

第2回 日本学セミナー

三宅 剛一 と ヘーゲル弁証法

講師：栗原 隆 (新潟大学人文学部教授)

三宅剛一(1895-1982)が、入学した旧制第六高等学校で、ドイツ語講師として赴任してきた高橋里美(1886-1964)の薫陶を受けたことから、二人の縁は始まりました。1921年、東北大学へ転出した高橋里美の後任として旧制新潟高等学校の教授として新潟に赴任。そして1924年には高橋里美の後任として東北帝国大学理学部助教授として仙台に赴くことになります。さらに、1946年に東北帝国大学法文学部哲学史第一講座の教授に就任したのも、高橋里美の後任としてでした。このような縁と絆に結ばれた二人でしたが、ヘーゲル弁証法をめぐって三宅は、高橋里美の思想に根源的な違和感を感じ続けていたようです。その論点を深めることを通して、ヘーゲル弁証法の構造を際立たせることを目指したいと思います。

日 時：2015年 10月 22日 (木) 16:30~18:00

会 場：東北大学川内南キャンパス

文科系総合講義棟 第1小講義室

事前申込：不要 ※どなたでもご参加いただけます

事務局：塩谷 芳也 (知の創出センター特任助教、プログラムコーディネータ)
email shiotani@m.tohoku.ac.jp

主 催：知の創出センター
尾崎 彰宏 (文学研究科 教授)



TOHOKU FORUM
for CREATIVITY

www.tfc.tohoku.ac.jp

Supported by



TOKYO ELECTRON